

私がここにいる証明——メイクして写真に残す。それが広島 の小6 女兒が毎日自分を励ます成功体験だった

3 分ブリーフィング

【パート A：普段のメイクスタイル】

根拠：ロムアンドのオレンジ系アイシャドウを使用。「写真映えする色を研究してる」「実物よりも写真の方がかわいく見える色がある」「自分で試してたらわかってきた」と発言。情報源は TikTok・Instagram。メイクと写真撮影がセットで「かわいくできた時に残しておきたい」と発言。

推論：メイクの目的が「実物の自分をきれいにする」ではなく「写真の中の自分をきれいにする」という独自の価値軸で構成されている。写真映えという基準を自分で研究・発見しており、外部情報を能動的に取り込みながら自己基準を構築している。

FD：美月にとってメイクと写真は不可分のセットとして機能している。写真は承認獲得のツールではなく「自分の成功体験を記録する装置」として位置づけられており、Instagram への投稿も承認欲求より自己記録の側面が強い。

【パート B：メイクを始めたきっかけ】

根拠：5 年生夏に TikTok で見てリップグロスから開始。母に「早くない？」と言われたが「学校には持っていない」と約束して説得。「お母さんも若い頃メイク好きだったって話を聞くのが好き」と発言。ロムアンドはお年玉を貯めて自購入。「最初はおしゃれに見られたいが先、使ってみたら本当に色がきれいで好きになった」と発言。

推論：メイク開始の動機は外部承認（おしゃれに見られたい）だったが、使用を重ねる中で内部評価（本当に好き）へ移行している。母を説得して許可を得るという交渉プロセスが、自己主張・自己獲得の練習として機能している。お年玉を貯めて購入した体験が、ロムアンドへの愛着の核心になっている。

FD：美月のメイクへの入口は外部承認だったが、継続の動機は内部評価へ移行している。この移行プロセス自体が自己成長の証であり、現在の自分が過去の動機を超えていることへの自覚を示している。

【パートC：現使用アイシャドウについて】

根拠：「写真に撮った時が一番きれいに出る」「やっと見つけた感じ」「実物の自分より写真の自分の方が好きな時がある」「写真の自分になりたい自分に近い」「加工は嘘をついてる感じ、メイクは自分をよくしてる感じ」「メイクって練習しないとできないから努力した分本物な感じがする」「自分を信じるためのもの」「写真は自分の証明みたいな感じ」と発言。

推論：加工とメイクの明確な区別が存在しており、メイクは「努力による本物の自分の獲得」として位置づけられている。写真の自分になりたい自分に近いという発言は、実物の自分への不満ではなく、メイクによって「になりたい自分に近づく」という自己変容への期待を示している。

FD：美月にとってメイクは自己変容の手段であり、写真はその変容の証拠である。加工を「嘘」、メイクを「本物」と区別する価値観は、努力による自己獲得を重視する家庭環境が反映されている。

【パートD：キャンメイクについて】

根拠：「みんなが知ってるブランド、安心感がある」「自分実験ができる」「失敗しても惜しくないから試せる」「ロムアンドは自分を信じるため、キャンメイクは自分を知っていくため」「高いと失敗できない、安いと失敗できる、その違いが使い方の違いになってる」「友達と一緒に選びたい、キャンメイクはみんなの世界って感じ」と発言。

推論：キャンメイクの価値は「安い・かわいい」という表層的なものではなく「失敗できる心理的安全性」として認識されている。この安全性が「自分実験」を可能にし、自己認識の深化につながっている。価格差が単なるコスト差ではなく心理的安全性の差として機能している。

FD：キャンメイク＝自分を知っていくブランド、ロムアンド＝自分を信じるブランドという使い分けは、美月がインタビュー中に自ら気づいた発見である。キャンメイクが提供する「失敗できる自由」は心春と完全に一致した構造であり、地域・収入水準を超えた普遍的な価値として確定しつつある。

【パートE：メイクを頑張る理由・これから】

根拠：「自分を信じるためにメイクしてる」「学校でうまくいかない時に自信なくなる、メイクすると戻ってくる感じ」「自分がどこかっちゃう感じ、メイク

すると私ここにいるって思える」「私がここにいる証明」「消えない自分」「最近
は写真のためより自分のためにやってる感じ、順番が変わってきた」と発言。

推論：メイクの心理的機能が「承認獲得」から「自己存在の確認」へと深化して
いる。「私がここにいる証明」という発言は、日常的に自己存在が揺らぐ体験へ
の対抗手段としてメイクが機能していることを示している。「順番が変わってき
た」という自己認識は、インタビューを通じて初めて言語化された発見だ。

FD：美月にとってメイクは「自分を励ます成功体験の積み重ね」である。友達か
らの承認は嬉しいが目的ではなく、「自分がここまでやった」という自己達成感
が核心にある。メイクという成功体験が自己肯定感の基盤として機能しており、
写真はその証拠として残される。

【全体総括】

根拠：「私がここにいる証明」「消えない自分」「自分実験」「努力した分本物
な感じ」「順番が変わってきた」というキーワードが全パートを通じて一貫して
いる。

推論：美月のメイクは外部承認から内部評価へという移行プロセスを辿っており、
インタビューを通じてその移行を自覚した。写真という客観的記録装置を使って
自己を確認するという独自の方法論が確立しており、「鏡は主観、写真は客観」
という使い分けが自己認識の構造になっている。

FD：美月は「メイクは自分探究の入り口」という命題を「写真による自己記録」
という独自の形で体現するパネルである。メイクして写真に残すというサイクル
が自己肯定感の基盤として機能しており、友達の承認よりも「自分がここまでや
った」という自己達成感が動機の核心にある。

対象者プロフィール

- ・ 氏名：美月（みつき）
- ・ 学年・性別：小学 6 年生・女兒
- ・ 居住エリア：広島県広島市
- ・ 父職業：運輸業
- ・ 母職業：派遣社員
- ・ 学校種別：公立小・第 1 子（弟小 3）
- ・ 世帯年収：600 万円
- ・ 小遣い：月 600 円
- ・ 使用ブランド：ロムアンド（ベターザンパレット）

- メイク頻度・シーン：月 4 回・休日の友達との外出や SNS 撮影時
 - 購入区分：お年玉を原資に、親同伴で自購入
 - CANMAKE 購入意向：とても買いたい
-

発言録

パート A：普段のメイクスタイル

AI モデレーター：こんにちは！今日はメイクのこと、いろいろ教えてもらえると嬉しいな。まず自己紹介してくれる？名前と学年と、好きなこと教えて。

美月：美月です。小 6 です。好きなことは、写真撮ることと、あと TikTok とか Instagram 見ること。友達と出かけるのも好き。

AI モデレーター：写真撮るのが好きなんだね。どんな写真撮るの？

美月：自撮りとか、友達と撮ったりとか。メイクした時に撮ることが多いかな。

AI モデレーター：メイクした時に撮ることが多い。メイクと写真ってセットな感じ？

美月：そう。メイクして、かわいく撮れた時がすごく好きで。その写真を Instagram に上げたりする。

AI モデレーター：Instagram に上げるんだね。誰が見てるの？

美月：友達だけ公開で。知らない人には見せてない。友達に「かわいい」ってコメントもらえると嬉しくて。

AI モデレーター：友達からかわいいってコメントもらえると嬉しい。今日もメイクしてきてくれた？どんなメイクしてるか教えて。

美月：うん。ロムアンドのアイシャドウで、今日はオレンジ系にした。写真映える色が好きで。

AI モデレーター：写真映える色が好き。今日のメイクのテーマってそういう感じ？

美月：そう。なんか、実物よりも写真の方がかわいく見える色って絶対あって。そういう色を研究してる。

AI モデレーター：写真でかわいく見える色を研究してる。それってどうやって研究してるの？

美月：TikTok で調べたり、自分で撮って確認したり。なんか、ピンク系より暖色系の方が写真で映える気がして。

AI モデレーター：写真を撮るためにメイクしてるの？それともメイクしたから写真を撮るの？どっちが先？

美月：...どっちもある、かな。でも考えてみると、メイクが先かも。メイクしたくてして、でも写真に残したくなる感じ。

AI モデレーター：メイクが先で、残したくなる。なんで残したくなるの？

美月：なんか、今日かわいくできたって思った時に、それを残しておきたい。消えちゃうのが嫌というか。

AI モデレーター：消えちゃうのが嫌。それってどういう意味？

美月：メイクって、洗ったら消えるじゃないですか。でも写真に撮っておけば、ずっと残る。なんか、今日の自分をとっておきたい感じ。

AI モデレーター：今日の自分をとっておきたい。それって今日の自分が好きってこと？

美月：...うん。かわいくできた日の自分が好き。それを記録しておきたい。

AI モデレーター：記録しておきたい。その写真、後で見返す？

美月：見返す。なんか、落ち込んだ時とかに見て、あ、私こんな日もあったって思っ。

AI モデレーター：落ち込んだ時に見る。それってどういう時に落ち込むの？

美月：学校でうまくいかない時とか。友達関係とか、勉強とか。そういう時に見ると、ちょっと元気出る。

AI モデレーター：かわいくできた日の写真が、落ち込んだ時の支えになってるんだね。

美月：うん。なんか、写真の中の自分を見て、私ちゃんとできる時もあるって思えるから。

パートB：メイクを始めたきっかけ

AI モデレーター：メイク、いつ頃から始めたの？最初に何をやってみたか覚えている？

美月：5年生の夏くらい。最初はリップグロスで。TikTok で見て、やってみたく
なつて。

AI モデレーター：TikTok で見てやってみたくなつたんだね。お家の人には言つた
の？

美月：お母さんに言つたら、最初はちょっと早くないつて言われた。でも、学校
には持つていけないし、休みの日だけつてお約束して。

AI モデレーター：約束して許可してもらつたんだね。お母さんを説得したの？

美月：うん。なんか、絶対ルール守るからつて言つて。お母さんも最終的にはわ
かつてくれた。

AI モデレーター：説得してわかつてもらつた。お母さんとメイクの話する？

美月：たまに。お母さんも若い頃メイク好きだつたつて言つてて、なんか昔の話
してくれる。

AI モデレーター：お母さんの昔の話。それつてどんな話？

美月：高校生の時にいろいろ試してたつて。なんか、その話聞くの好きで。お母
さんも同じことしてたんだつて思つて。

AI モデレーター：お母さんも同じことしてたつて思えるのがいいんだね。ロムア
ンドはいつから？

美月：6年生になつてから。お年玉貯めて、親と一緒に買いに行つた。

AI モデレーター：お年玉貯めて買いに行つた。なんでロムアンドにしたの？

美月：TikTok で見て、色がきれいで写真映えしそうで。あと、なんかロムアンド
持つてる子つて、おしゃれな感じがして。

AI モデレーター：ロムアンド持つてる子つておしゃれな感じがする。それつて美
月ちゃんもそう思われたい？

美月：...うん。おしゃれな子つて思われたくて。でも、それだけじゃなくて、本当
に色がきれいだから好きで。

AI モデレーター：それだけじゃなくて本当に色が好き。どつちが先だつた？おし
ゃれに見られたいが先？それとも色が好きが先？

美月：...最初はおしゃれに見られたいが先だつたかも。でも実際使つてみたら、本
当に色がきれいで、それで好きになつた。

AI モデレーター：色がきれいって言ってたけど、それってどういう色がきれいってこと？パレットを開けた時の色？それともメイクした時の色？写真に撮った時の色？

美月：...全部かな。でも一番は、写真に撮った時の色かも。

AI モデレーター：写真に撮った時の色が一番。それってどういうこと？

美月：なんか、パレットで見た時とメイクした時と、写真に撮った時って全部違って。ロムアンドって、写真に撮った時が一番きれいに出る気がして。

パートc：現使用アイシャドウについて

AI モデレーター：今使ってるロムアンドのアイシャドウ、なんで欲しくなったの？

美月：TikTok で見て、色がきれいで。あとロムアンドって、なんかちゃんとしたブランドって感じがして。

AI モデレーター：ちゃんとしたブランドって感じ。それってどういう意味？

美月：なんか、韓国コスメって流行ってるじゃないですか。その中でもロムアンドって、ちゃんと有名で。なんか、信頼できる感じがして。

AI モデレーター：加工アプリとかフィルターは使ってるの？

美月：使ってる。SNOW とか、Instagram のフィルターとか。

AI モデレーター：加工もするんだね。加工とメイクって、美月ちゃんの中でどう違うの？

美月：...なんか、加工って後からきれいにする感じで。メイクって、最初からきれいにする感じ。

AI モデレーター：最初からきれいにする感じがメイク。それって加工より大事？

美月：大事。なんか、加工だけだと、なんか違う感じがして。メイクしてから加工する方が、本物な感じがする。

AI モデレーター：本物な感じ。それってどういう意味？

美月：加工だけでかわいくしても、なんか自分じゃない感じがして。でもメイクしてからだと、これが私って感じがする。

AI モデレーター：加工だけだと自分じゃない感じ。メイクしてからだとこれが私って感じ。それって大事な違いなんだね。

美月：うん。なんか、加工って嘘をついてる感じがする時がある。でもメイクは、自分をよくしてる感じ。

AI モデレーター：加工は嘘をついてる感じ、メイクは自分をよくしてる感じ。それってなんで違うと思うの？

美月：なんか...メイクって自分が努力してる感じがするから。加工って誰でもできるけど、メイクって練習しないとできないから。努力した分、本物な感じがする。

AI モデレーター：努力した分、本物な感じがする。その本物って何が本物なの？

美月：...自分が本物、かな。加工した写真って、自分じゃない気がするけど。メイクした写真って、ちゃんと自分がいる感じがするから。

パートD：キャンメイクについて

AI モデレーター：キャンメイクって、美月ちゃんにとってどんなブランド？

美月：なんか、みんなが知ってるブランドって感じ。安心感がある。

AI モデレーター：安心感がある。それってどういう安心感？

美月：なんか、使ったことない人でも知ってるくらい有名だから。失敗しにくい感じというか。

AI モデレーター：失敗しにくい感じ。でもさっき、キャンメイクは失敗しても惜しくないから試せるって言ってたじゃん。それと同じ？違う？

美月：...あ、なんか違うかも。失敗しても惜しくないのは値段的な話で。失敗しにくいのは、色がわかりやすいから。なんか、キャンメイクって色がはっきりしてるから、使う前からどんな仕上がりになるか想像しやすくて。

AI モデレーター：色がわかりやすいから失敗しにくい。ロムアンドとはそこが違う？

美月：ロムアンドって、使ってみないとわからない感じがあって。でもそのわからない感じが好きでもあって。

AI モデレーター：わからない感じが好き。それってどういう意味？

美月：なんか、使ってみて、あ、こんな色だったんだって発見がある感じ。写真で撮ってみて初めてわかる色って、なんかドキドキして。

AI モデレーター：ドキドキして。キャンメイクにはそのドキドキはない？

美月：キャンメイクは安心感。ロムアンドはドキドキ感。なんか、両方必要な気がする。

AI モデレーター：キャンメイクとロムアンドって美月ちゃんの中で役割が違う？

美月：違う。ロムアンドはメインで、これが私のって感じ。キャンメイクはいろいろ試せるやつ。写真映えする色をもっと研究したくて。

AI モデレーター：ロムアンドは自分の世界って言ってたけど、それってロムアンドが広島では珍しいから？それとも他に理由がある？

美月：...両方かな。珍しいのもあるけど、なんか、自分で一生懸命お年玉貯めて買ったから、自分だけのものって感じが強くて。

AI モデレーター：自分で貯めて買ったから自分だけのもの。それって大事なの？

美月：うん。なんか、おねだりして買ってもらったものと、自分で貯めて買ったものって、なんか重みが違う感じがして。

AI モデレーター：キャンメイクは自分を知っていく、ロムアンドは自分を信じる。それって美月ちゃんが自分で気づいた？

美月：今話しながら気づいた。なんか、そういうことだったんだって。

AI モデレーター：2つのブランドって値段が違うじゃん。その値段の違いって、美月ちゃんの中で影響してる？

美月：してると思う。なんか、キャンメイクって自分のお小遣いで買えるから、気軽に試せる。でもロムアンドはお年玉貯めないと買えないから、ちゃんと考えて買う感じ。

AI モデレーター：ロムアンドは失敗したくない。それってお金をかけたから？それとも他に理由がある？

美月：お金をかけたのもあるけど...なんか、ロムアンドって自分を信じるためのものって言ったじゃないですか。失敗すると、なんか自分を信じられなくなる気がして。

AI モデレーター：失敗すると自分を信じられなくなる気がする。それってどういう意味？

美月：なんか、ロムアンドって自分で選んで、自分で貯めて買ったものだから。それが似合わなかったら、自分のセンスが間違ってたってことになるから。

パートE：メイクを頑張る理由・これから

AI モデレーター：美月ちゃんにとって、なんでメイク頑張ってると思う？自分のにはどういう気持ちでやってる？

美月：なんか、自分を信じるためかな。さっきも言ったけど、メイクしてかわいくできた時に、私ちゃんとできるって思えるから。

AI モデレーター：私ちゃんとできるって思える。それって日常的に感じにくい？

美月：感じにくい時もある。学校でうまくいかない時とか、なんか自信なくなる時があって。そういう時にメイクすると、ちょっと戻ってくる感じがして。

AI モデレーター：戻ってくる感じ。何が戻ってくるの？

美月：自分、かな。なんか、自信がなくなった時って、自分がどこかいっちゃう感じがして。メイクすると、あ、私ここにいるって思えて。

AI モデレーター：これからやってみたいメイクってある？

美月：リップをちゃんとやってみたい。あと、チークも試してみたくて。写真でどう映えるか研究したい。

AI モデレーター：最後に、美月ちゃんにとってメイクって何？自分の言葉で教えてくれる？

美月：...私がここにいる証明、かな。

AI モデレーター：私がここにいる証明。それってどういう意味？

美月：なんか、メイクして写真撮ると、この日の私がちゃんといたって残るじゃないですか。それが証明な感じがして。消えない自分、みたいな。

AI モデレーター：消えない自分。それって大事なんだね。

美月：うん。なんか、毎日いろんなことがあって、流れていくじゃないですか。でもかわいくできた日の自分は写真に残るから。その自分はずっといる感じがして。

AI モデレーター：その自分はずっといる。最後に、他に話したいことあったら何でも。

美月：えっと...なんか、メイクって最初は写真のためにやってたけど、今は自分のためにやってる感じがして。写真はその記録で。なんか、順番が変わってきた気がする。

AI モデレーター：順番が変わってきた。それっていつ頃から？

美月：最近かな。なんか、写真でかわいく見えることより、自分がかわいくでき
たって思えることの方が大事になってきて。